

# 東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

販売店・工事店さま用

形名



DVF-14MRK8, 14MRKQ8, 20MRX8, 20MR8, 20MRQ8  
DVF-23MRX8, 23MR8, 23MRQ8

日本国内専用品  
Use only in Japan

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- 本説明書は換気扇の取り付けと関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、配管工事などを区別して説明しています。  
建設工事は関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要となります。  
流通業者（販売店）を通して換気扇の取り付けを行う場合は、建設工事部分と区別して行ってください。
- この取付説明書は設置完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください）



## 安全上のご注意

- 商品および取付説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表 示	表示の意味
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

- \* 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \* 2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- \* 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。









### 図記号の意味

表 示	図記号の意味
 禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。







- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。  
また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

# 安全上のご注意（つづき）

## ⚠ 警告

 改造禁止	<b>改造はしない</b> 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	<b>修理技術者以外の方は、分解・修理（※）をしない</b> 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	<b>アースは確実に取り付ける</b> 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	<b>メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける</b> 漏電した場合、火災の原因になります。
 取付禁止	<b>内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 給気を確実に	<b>煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分に大きな空気取り入れ口を別に付ける</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 交流 100V を使う	<b>電源は交流 100V を使う</b> 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
 水かけ禁止	<b>水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない</b> 漏電により、火災・感電の原因になります。

## ⚠ 注意

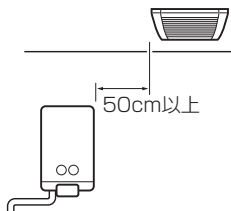
 取付禁止	<b>浴室には壁スイッチを取り付けない</b> 火災・感電の原因になります。
 炎禁止	<b>炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない</b> 火災の原因になります。
 確実に取り付ける	<b>強度のある場所に確実に取り付ける</b> 落下による、けがの原因になります。
 確実に取り付ける	<b>本体カバーや部品は確実に取り付ける</b> 落下による、けがの原因になります。
 取付注意	<b>電気工事は必ず電気工事店に依頼する</b> <b>電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う</b> 火災の原因になります。
 手袋着用	<b>取り付けのときは、手袋を着用する</b> 手袋を着用しないと、けがの原因になります。

# 取付上のお願い

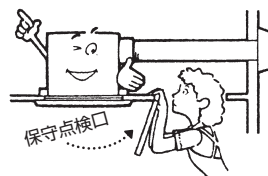
● 次のような場所（×印）には取り付けないでください。

形 名	取り付け場所		
	居間	台所(局部排気)	浴室
DVF-14MRK8, 14MRKQ8, DVF-20MRX8, 20MR8 DVF-20MRQ8, 23MRX8 DVF-23MR8, 23MRQ8	○	○	×

ガス湯沸器の真上（横方向へ  
50cm 以上離してください）

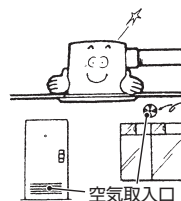


● 点検口を必ず設けてください。



● 給気にご注意ください。

空気の入入口（フード付ガラリなど）に十分  
給気される配慮をしてください。



● 次のようなダクト工事はしないでください。

(1) 極端な曲げ



(2) 多数回の曲げ



(3) 接続ダクト径を極  
端に小さくする



(4) 排気口のすぐ  
近くでの曲げ



● ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。

シャッターが開かなくなる恐れがあります。

● 地域によってはジャバラが使えないことがあります。

（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）

● 共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2m の鋼板立上がりダクトを取り付けてください。

● 金属ダクトを使用して木造の壁を貫通する場合で、金属ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの部分と接する部分は、金属ダクトを絶縁してください。

● この換気扇をレンジ用として使用する場合は（DVF-14MRX, 18MRX の使用はできません）

① 換気扇の周囲をレンジと同寸、またはそれ以上の幅のフードを取り付けて  
ご使用ください。（図 1）

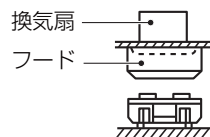
② 取り付け高さはレンジの真上 80 cm 以上にしてください。

高すぎると煙その他の捕集効果が低下します。

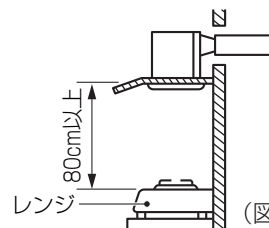
また低すぎると台所仕事のさまたげになったり高熱による故障の原因にもなり  
ます。（図 2）

③ 料理の種類によっては極端に多くの煙が発生し捕集しきれないことがあります。  
台所は全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた  
換気ができます。

④ レンジの真上に可燃物がある場合、消防署の指導を受けることがありますので、  
取り付けに当っては所轄の消防署などにご相談ください。

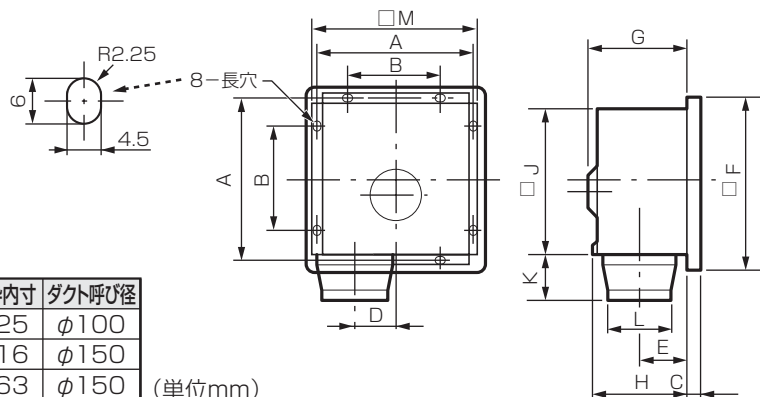


（図 1）



（図 2）

# 製品寸法



形 名	取付枠内寸	ダクト呼び径
DVF-14タイプ	□225	φ100
DVF-20タイプ	□316	φ150
DVF-23タイプ	□363	φ150

(単位mm)

形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
DVF-14タイプ	243	140	14	0	108	280	200	197	217	72	φ98	257
DVF-20タイプ	335	221	14	88	130	370	255	243	309	101	φ143	350
DVF-23タイプ	380	220	14	108	152	420	274	252	358	101	φ143	396

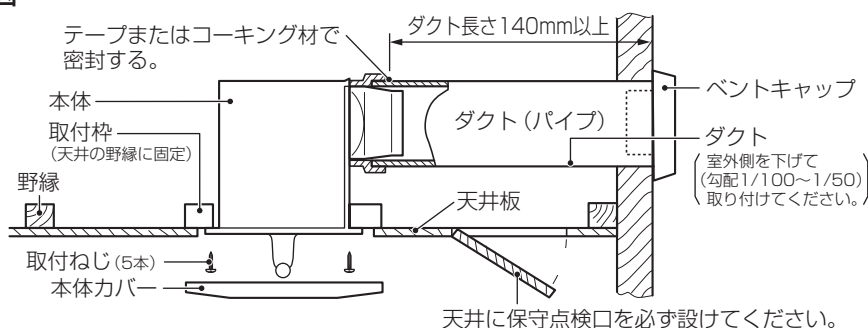
付属品の確認をしてください。

●取付ねじ5本 (本体固定用・排気口固定用) ●取付ボルト1本 (本体仮固定用)

## 取付方法

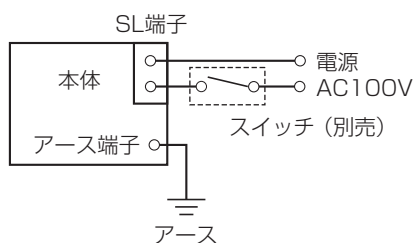
- 取付設置前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
- 取付時、板金部品の端面で手を滑らせるとけがの原因になります。手袋を着用してください。

### 取付図

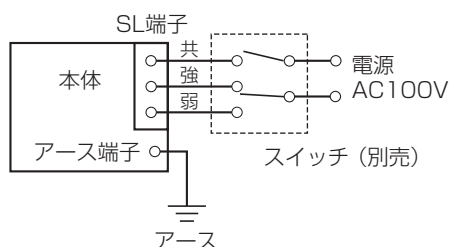


### 配線図

● DVF-14MRK8, 14MRKQ8  
20MRX8, 20MR8, 23MRX8



● DVF-20MRQ8, 23MR8, 23MRQ8



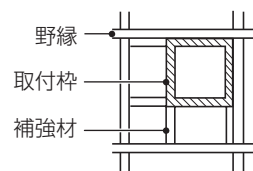
## A. 天井板を貼る前のとき

### 取付枠に取り付けるとき

#### A-1 取付枠内寸に合わせて取付枠をつくり野縁に固定します。

##### お願い

製品の質量に十分耐えるよう取付枠を補強材等で野縁に固定します。

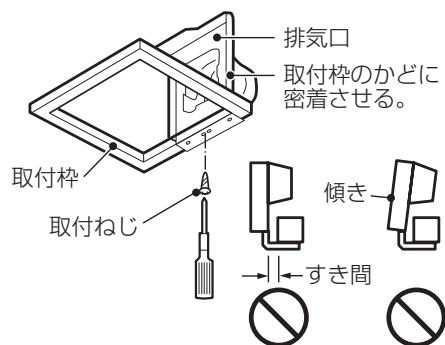


形 名	取付枠内寸	製品質量
DVF-14タイプ	□225	3.8kg
DVF-20タイプ	□316	7.4kg
DVF-23タイプ	□363	9.9kg

#### A-2 排気口を固定します。 ①排気口を取付枠のかどにすき間や傾きがないように 付属の取付ねじ（1本）で固定します。

##### お願い

設置をするときシャッターを変形させないでください。

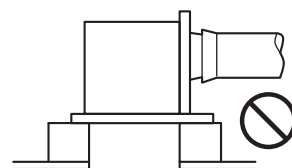
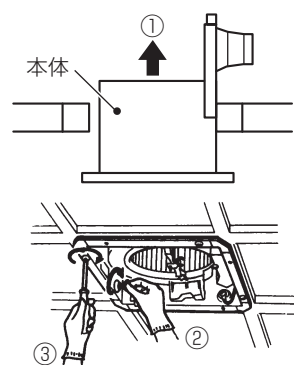


#### A-3 本体を取付枠に固定します。

- ①本体を取付枠にはめ込みます。
- ②付属の取付ボルトで仮固定します。（安全のためそのままにしておいてください。）
- ③取付ねじ（4本）で本体を取付枠に固定します。

##### お願い

- 本体の固定は排気口に密着させてください。風もれの原因になります。
- 本体を取付枠の上に固定しないでください。



# 取付方法（つづき）

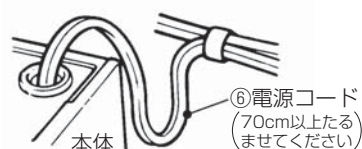
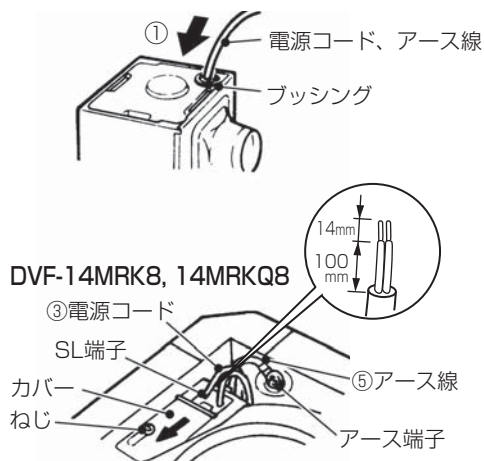
## A-4 電源コードとアース線を接続します。

### ● DVF-14MRK8, 14MRKQ8

- ① 本体上部のブッシングから電源コード（VVF φ 1.6, φ 2）、アース線を差し込みます。
- ② カバーのねじをゆるめ、カバーをあけます。
- ③ SL 端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。  
（電源被ふくは 14mm むいてください）
- ④ カバーを閉じて、ねじを締め付けます。
- ⑤ アース端子に、アース線を取り付けます。
- ⑥ 電源コードおよびアース線は本体部付近で 70cm 以上たるませてください。

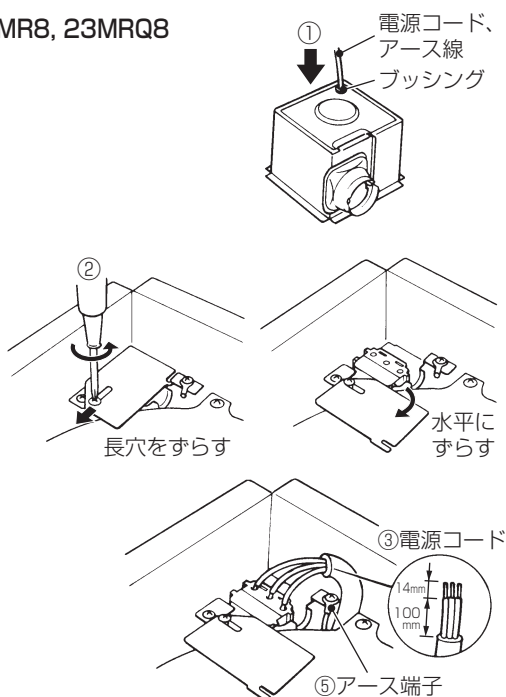
### お願い

- 配線工事やスイッチの取り付けは必ず電気工事業者（法的有資格者）へ依頼してください。
- スイッチは必ず活線側に取り付けてください。



### ● DVF-20MR8, 20MRQ8, 20MRX8, 23MRX8, 23MR8, 23MRQ8

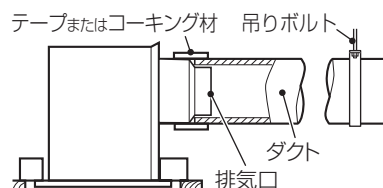
- ① 本体上部のブッシングから電源コード（VVF φ 1.6, φ 2）、アース線を差し込みます。
- ② カバーのねじをゆるめ、長穴を移動してからカバーを約 90° 水平にずらします。
- ③ SL 端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。  
（電源被ふくは 14mm むいてください）  
（差込穴と位置はラベルの表示に従ってください）
- ④ カバーをもとへもどし、ねじを締め付けます。
- ⑤ アース端子に、アース線を取り付けます。
- ⑥ 電源コードおよびアース線は本体部付近で 70cm 以上たるませてください。



## A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。

### お願い

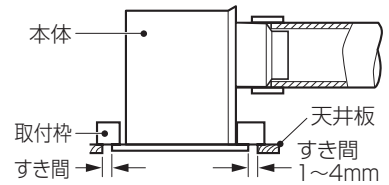
- ダクトは室外側を下げて（勾配 1/100 ~ 1/50）吊りボルトなどで保持してください。
- ダクト配管工事は管工事業者へ依頼してください。



## A-6 天井板を貼り付けます。

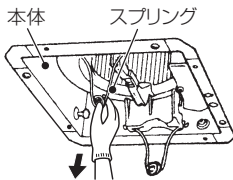
### お願い

本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので天井板と本体のフランジとのすき間が 1 ～ 4mm になるようにしてください。

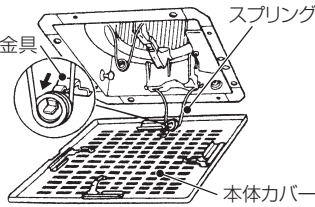


## A-7 本体カバーを取り付けます。

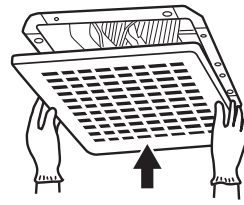
①本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。



②スプリングに引掛金具を引っ掛けます。



③本体カバーをそのままゆっくりと押し上げます。



## 吊下金具を使用するとき

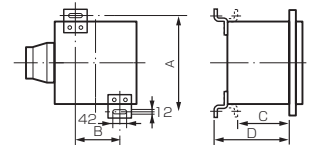
1 吊下金具は別売の DV-1T を使用します。  
吊下金具を使用して取り付けるとき、本体の取りはずしはできません。

2 次図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。  
吊下金具は破線のような取り付けも可能です。

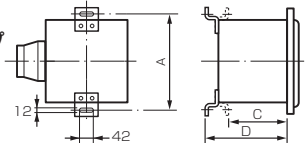
(単位mm)

形 名	A	B	C	D
DVF-14タイプ	265	138	168	226
DVF-20タイプ	356	—	213	271
DVF-23タイプ	403	—	223	280

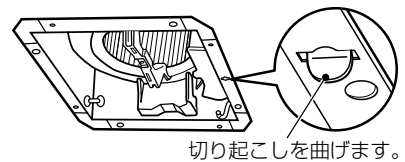
DVF-14タイプ



DVF-20,23タイプ



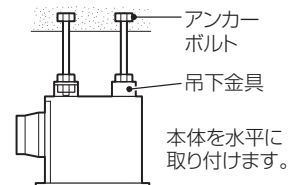
3 排気口を本体に固定します。  
排気口の切り起こしを本体の穴に通してペンチ等で曲げます。



4 本体をアンカーボルトに取り付けます。

### お願い

本体が水平になるように取り付けてください。



5 取付枠を取り付けます。

6 以後の取り付けは A-4・5・6・7 を参照してください。



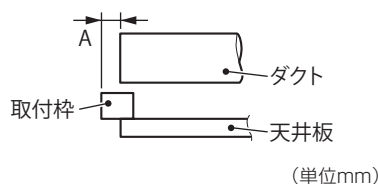
# 取付方法（つづき）

## B. 天井板を貼った後のとき

### B-1

排気口を固定します。

①ダクトの先端は下の A 寸法に合わせてください。

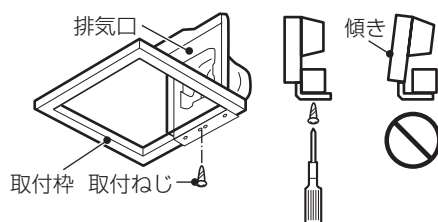


A寸法

(単位mm)

形 名	ダクト(パイプ)			
	呼び径	VU	VP	スパイラル
DVF-14タイプ	φ100	25	45	45
DVF-20,23タイプ	φ150	95	75	60

②排気口をダクトにはめ込み取付枠に付属の取付ねじ（1本）で固定します。



### ご注意

排気口が傾いていますと本体が取り付けられません。

### B-2

排気口とダクトの接続部分にテープを巻き密封します。

詳しくは A-5 を参照してください。

### B-3

電源コードとアース線を接続します。

詳しくは A-4 を参照してください。

### B-4

本体を取付枠に固定します。

詳しくは A-3 を参照してください。

### B-5

本体カバーを取り付けます。

詳しくは A-7 を参照してください。

## 以上で取り付け完了です

つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- 本体カバーが確実に取り付けられていること。